

コラム

# ジャパンエキスポ2015の参加報告と遠隔ファン支援実験

山崎 敬一<sup>1,a)</sup> 小林 貴訓<sup>2,b)</sup>

## The Report of Japan Expo 2015 and an Experiment of Remote Supporting System for Idol Fan

KEIICHI YAMAZAKI<sup>1,a)</sup> YOSHINORI KOBAYASHI<sup>2,b)</sup>

### 1. はじめに

2015年7月はじめ、山崎と小林は、慶應大学の岡田謙一教授、埼玉大学理工学研究科大学院生の鈴木亮太君と、ヒルトンシャルルドゴールエアポートにいた。7月2日から7月6日まで開催されるジャパンエキスポ2015の視察と、そこに参加していた日本のアイドルグループORANGE PORTと日本のファンとの交流を、ロボットを用いて支援する実験のためである。

### 2. ジャパンエキスポ2015

ジャパンエキスポ2015はフランスで開催されている日本文化の祭典である。今回は、科研費萌芽研究「越境する文化・還流する文化」において、日本文化の海外進出について研究するため、ジャパンエキスポ2014について2回目の参加であった。この間に、我々は、主催者や、アイドルプロデューサーのインタビュー、実際の参加プロモーションの調査を行った。ジャパンエキスポは、フランスにおける日本のアニメや漫画やアイドルのファンの自主的な運営から始まった。そのことは現在も変わらないが、現在は日本の出版取次大手のトーハンが日本の参加者の全面的なサポートを行っており、また経産省のクールジャパン関係の補助金が参加経費の半分以上を補助しているという、3者の連携によって成り立っている。

ジャパンエキスポに参加する前は、日本の観光客目当てのイベントで、日本からの参加者が多いのではと考えていた。しかし実際には、フランスをはじめとするヨーロッパ

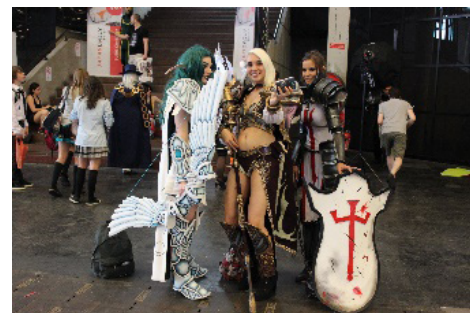


図1 ジャパンエキスポの様子

の日本文化のファンが、4日間でのべ20万以上も参加するフランスをはじめとするヨーロッパの人々のためのイベントであった\*1。

ジャパンエキスポに参加してもう一つ驚くのは、参加者たちの服装である。参加者の半分は、日本のアニメや漫画やゲームの登場人物のコスプレをしていた。また、フランスでは地下鉄などでの荷物の制限が日本よりも緩いらしく、彼ら彼女らは巨大な武器を身にまとっていた(図1)。

これらについてはさらに調査も必要であるが、社会学者としての(山崎の)個人的な感想としては、日本側は日本の「かわいい」文化をヨーロッパの少女のイメージをもとに売り出そうとしているが、フランスの若者たちが日本文化に一番共感しているのは、そうした外来の(日本由来の)セルフイメージではなく、むしろ「戦う女」を中心とした旧来の抑圧からの解放なのではないかという点である。

もう一つの感想としては、フランスをはじめとするヨーロッパのファンは、伝統的な日本文化、アニメや漫画やアイドルやゲームなどの日本の現代文化、および日本のテクノロジー文化を1つのセットとしてとらえているということである\*2。また、インターネットによって、情報の世界

<sup>1</sup> 埼玉大学人文社会科学部研究科学際系  
Graduate School of Humanities and Social Sciences, Saitama University, Saitama 338-8570, Japan

<sup>2</sup> 埼玉大学理工学研究科  
Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, Saitama 338-8570, Japan

a) byi06561@nifty.com

b) yosinori@hci.ics.saitama-u.ac.jp

\*1 ジャパンエキスポ2015は、フランスのマルセイユやアメリカのサンマテオでも開催された。

\*2 日本文化の海外での越境については、『日本人と日系人の物語—会話分析・ナラティブ・語られる歴史』山崎敬一他編、世織書房、2015でも海外の日系人文化を中心に考察されている。



図 2 Welcome to Japan Project のイベントブースの様子

同時的な共有が可能になった現在、日本のこうした過去と現在が混成し一体となった今の日本文化が、フランスをはじめとするヨーロッパの若者を惹きつけているのである。

こうしたことを象徴するのは、アイドルや歌手の人気である。ジャパンエキスポは、日本でも人気のあるアイドルが海外への進出の場と位置付けているイベントである。2014年には乃木坂46が、2015年にはでんぱ組。IncやVampsなどの人気グループが参加した。だが最も観客の熱狂を生んでいたのは、2014年には当時日本でもアニメファンの熱狂を受けていた『魔法少女まどか☆マギカ』の主題歌を歌っていたKalafinaであった。また2015年でも『ソードアート・オンライン』や『アルスラーン戦記』の主題歌を歌っていた藍井エイルであった。またテクノロジーとの混成では、日本のゲームクリエイターやゲームメイカーのプレゼンスが大きかった。日本の大学の情報系の研究も出展されていたが、2015年は、フランスのロボット会社がこぞってロボットを展示していたのが印象的であった。

### 3. Welcome to Japan Project

ジャパンエキスポでは、アニメや漫画、ゲーム、剣道などのスポーツ、着物、和食など、さまざまな日本文化の発信が行われていたが、その中でもアイドルのライブやミニコンサートは、最も集客力のあるイベントで、会場の熱狂ぶりは、日本以上とも感じられるほどであった。今回、我々は、特に Welcome to Japan Project で渡仏しているアイドルチームの活動を追いかけた。Welcome to Japan Project は、“地方から日本を元気にする”ことを目的としたプロジェクトであり、地方アイドルが世界で活躍することで、そのアイドルの地元を元気にし、それが日本全体に活力を与えるというコンセプトのもと、その活動が注目されているプロジェクトである。今回のジャパンエキスポでは、地方アイドルの代表として、ORANGE PORT (沼津)、Chaw Chaw (大阪)、みちのく仙台ORI☆姫隊 (仙台)、Baseball Girl (福岡) がジャパンエキスポに参加していた (図 2)。

この Welcome to Japan Project は YANAGIMAN 氏のプロデュースによるもので、YANAGIMAN 氏は「かつて BoA が韓国から台湾・日本・中国、そしてアメリカへと活動を広げていったのを目の前で見ていた」という経験から、



図 3 フランス側のスタジオの様子



図 4 日本側の会場の様子

このプロジェクトを企画し精力的に活動している。今回、我々は、YANAGIMAN 氏の協力により、ぬまづ国際親善アイドル大使として注目を集めている ORANGE PORT と協働し、「地域の沼津市からリアルタイムで ORANGE PORT を応援しよう」というコンセプトのもと、地元ファンの応援をロボットで支援する実験イベントを行った。

### 4. フランスのアイドルと日本のファンをロボットでつなぐ遠隔ファン支援実験

フランスと日本をつなぐ地元ファンのリアルタイム応援イベントは、7月5日の日本時間午後3時から、フランス時間の午前8時から30分ほどで行った。フランスのスタジオ (場所の都合上、ホテルの一室であったが) に入った ORANGE PORT のメンバーには、ジャパンエキスポでの自分たちの活動をまとめたビデオ映像を見もらった。メンバーには、自分たちの映像を見ながら裏話のようなコメントしてもらったが、その様子は日本の会場に生中継された。これはフランスでのメンバーの最新の活動を知りたいファンにとっては、メンバーのコメント付きで最新の状況を知ることができるため、大変興味深い内容となったようだ。

次に、メンバーへのインタビューを行った。インタビューはフランスと日本をテレビ電話でつなぎ、フランス側に設置した埼玉大学のマスコットキャラクター“メリンちゃん”ロボットがメンバーに質問する形式で行った。メンバーは色の違う風船を持っていて、日本にいるファンはその風船の色と同じ色のボードを掲げることでロボットに質問させたいメンバーを選ぶことができる。実際には、ファンの中で意見が分かれるため、より多くのファンが掲げたボードの色に対応するメンバーにロボットが質問を投げかけた。メンバー達は、自分たちの誰が回答者に選ばれるかを楽しみながら回答しており、メンバー同士の会話も弾んでいた。

また、ロボットが投げかける質問に答えるという一方的なインタビュー形式ではなく、日本の会場のファンの意見がインタビューに反映されるというロボットのゆるやかな“仕切り”が遠隔地のファンにも好評だった（図 3, 図 4）。

## 5. おわりに

今回、ジャパンエキスポという日本文化の祭典のなかで、日本のアイドル文化とロボットテクノロジーを融合した実験イベントを行った。ジャパンエキスポの視察を通じて、こうした取組みが行われていることを、海外から日本に向けて発信することが、日本の伝統文化やロボットテクノロジーとエンターテインメントが一体となった文化の日本における再活性化につながるのではないかと感じた。